

アジアにおける人の移動の現状と課題—  
日本が採るべき道を探る

2015.6.1

日本としての外国人受け入れへの  
対応と課題

(公財)日本国際交流センター

執行理事 毛受敏浩

tmenju@jcie.or.jp

# 未曾有の人口減少

2013年 毎年 25万人

2020年 60万人

2030年 80万人

2040年 90万人

2050年 103万人



『日本の将来推計人口』（2012年1月推計）

# 現在の政策

## 1. 女性と高齢者の活用

- ・女性の負担増・・・出産、仕事、介護への期待
- ・海外より高い高齢者の労働力率

## 2. 地方創生と出生率の改善

- ・面的な成功事例がない
- ・出産年齢層の減少

## 3. 技能実習制度の拡大

- ・途上国への技術移転の建前(すべての実習生は帰国)
- ・高い法令違反 7割

# 移民受入れ政策への拒否反応

1. 人口減少に対する危機意識の欠如
2. リスク回避・現状維持・目先安定症候群
3. 近隣諸国との関係悪化と右傾化傾向
4. 国民の「移民」へのネガティブ意識

# 移民へのネガティブ意識

- 犯罪の増加・・・2005年をピークに減少
- 日本人の職を奪う・・・受け入れ政策次第、実際は起業率が高い
- 欧州の暴動を懸念・・・10%以上vs.1.7%
- 単一民族的な国柄・・・草の根の多文化共生の経験が知られていない。

# 移民受入れ議論の活発化のために

## 1. 国民の「移民」についての偏見の除去

- ・「移民」についての正確な情報提供
- ・「よい」移民政策と「悪い」移民政策の区別（ウィンウィンを目指すべき）

## 2. 草の根の成功事例の紹介とイニチアチブ

- ・在住外国人の貢献（起業、海外文化の紹介の役割、日本人が忌避する仕事を担当など）を知らせるべき
- ・人口減少が直撃する自治体は外国人住民歓迎のメッセージを

# 移民受入れ議論の活発化のために

## 3. 海外の移民政策の成功例の紹介

- ・欧米では移民が経済成長の礎という事実
- ・日本と似た韓国で移民受入れへ方向転換

## 4. 横断的な移民受入れ議論の場の構築

- ・政府、メディア、学者、NGOなど多様な立場からなるフォーラムの構築と政策提言